

鉄鋼技術情報センター

鉄鋼技術情報センター新着図書

下記資料の照会先：鉄鋼技術情報センター

図書・資料室 電話 03-3241-1228

書名	著者・編集者名	出版年	頁数
アジア地域のエネルギー消費構造と地球環境影響物質 (SO _x , NO _x , CO ₂) H 排出量の動態分析 概要	科学技術庁	1991	55
アジア地域のエネルギー消費構造と地球環境影響物質 (SO _x , NO _x , CO ₂) H 排出量の動態分析 本編	科学技術庁	1991	271
アジア地域のエネルギー消費構造と地球環境影響物質 (SO _x , NO _x , CO ₂) H 排出量の動態分析 資料編	科学技術庁	1991	158
鉱工業技術研究組合 30 年の歩み	鉱工業技術研究組合	1991	178
界面移動現象部会 ビデオライブラリー説明書 (第 1~3 巻)	日本鉄鋼協会	1991	
走査型電子顕微鏡による鑄鋼の観察	朝日カルチャーセンター	1991	185
第 1 回石炭利用技術会議講演集	(財)石炭利用総合センター	1991	347
高合金・超合金中析出物の分析法に関する研究 (析出物分析小委員会第 I 期活動報告書)	日本鉄鋼協会	1991	81
1991 年の内外鉄鋼業	(社)日本鉄鋼連盟	1992	117
通商産省政策史 第 13 巻 第 IV 期 多様化時代(2)	通商産業論査会	1992	117
imidas (情報知識) 1992	集英社	1992	
The World of Learning 1992 42nd Edition	EUROPA PUBLICATIONS	1992	2201
鉄鋼材料の高強度化技術 (第 141・142 回西山記念技術講座)	日本鉄鋼協会	1992	212
セラミック合成入門	(株)アグネ	1992	156

<複写料金改定のお知らせ>

1992 年 4 月より非会員の複写料金を一部改定致しました。

複写代は、従来どおり 1 頁 70 円ですが、さらに基本料金 500 円 を追加徴収させていただきます。

会員の料金は従来どおりです。

ISO 幹事国活動

1. 国際規格発行に関する進捗状況

- (1) ISO 規格が発行されたもの：1 件
ISO 10697-1 (SC 1) : Sol Ca-原子吸光法 (02-15)
- (2) DIS 改訂版が中央事務局へ返却されたもの：1 件
DIS 4954 (SC 4) : 冷間押し出し用鋼 (02-04)
- (3) DIS 投票結果および各国コメントが SC へ回されたもの：1 件
ISO 9302 : 1989/DAMI (SC 19) : 圧力用途用継目無及び溶接 (SAW 以外) 鋼管-水圧試験代替用磁粉探傷試験 (02-04)
- (4) DIS が登録されたもの：3 件
DIS 9330 (SC 19) : 圧力用途用溶接鋼管-技術的出荷条件 (02-07)
 - i) Part 4 : SAW 普通鋼及び合金鋼 (高温用)
 - ii) Part 5 : SAW 普通鋼及び合金鋼 (低温用)
- (5) SC が DIS 登録を申請したのもの：1 件
CD 6931-1 (SC 4) : スプリング用ステンレス鋼 (02-10)

2. ISO 中央事務局関係

- (1) 会員資格関連
 - 1) フィリピンが ISO/TC 17 に P メンバーとして加わる。(以前は O メンバー)
 - 2) 下記会員団体は会費滞納で会員資格停止 (1992-01-30)
ブルガリア (BDS), イラク (COSQC), 北朝鮮 (CSK), アルジェリア (INAPI), チリ (INN), ケニヤ (KEBS), キューバ (NC), ジンバブエ (SAZ), ウルグアイ (UNIT), これに旧 USSR (GOST), ガーナ (GSB) を加えて資格停止中の会員団体は残念ながら 11.
 - 3) 資格抹消の会員団体：ナイジェリア (SON)
- (2) 連携 (リエゾン)
TC 17/SC 13 と AAR* がカテゴリー A のリエゾンを結ぶ。
*AAR : The Association of American Railroad
- (3) ISO Memento とカタログの 1992 年版が発刊
それぞれ 2 月 13 日と 2 月 20 日に中央事務局から発送。

3. TC 17 (鉄鋼) 関係

(1) 第 17 回 ISO/TC 17 総会報告書の発行
1991 年 11 月 19~22 日、京都において開催された第 17 回 ISO/TC 17 総会の報告書案について

Dr GAUDILLÈRE 及び Mr ORNBY よりコメントを入手した。これらを取り入れた最終報告書を 3 月初めに TC 17 P メンバー他関係国へ送付した。

(2) 第 28 回鉄鋼 ISO 運営委員会開催 (02-19)

平成 3 年度決算最終見込み及び平成 4 年度予算を審議。また、第 15 回 TC 17/SC 1 国際会議の日本開催 (1994 年) の提案と鉄鋼標準化センターの設立を承認。

なお、鉄鋼標準化センターは、2 月 21 日に行われた理事会で最終承認され、今年 4 月より従来の標準室と ISO 事務局が統合した組織としてスタート。

(3) 第 17 回 ISO/TC 17 総会決議事項の実行計画作成。活動開始。2 月度実施内容は下記のとおり。

1) Resolution 1/19 に関し、TR 9769 の Product Standard への引用の実行の依頼 (02-14)。

2) Resolution 5/91 に関し、TC 17/WG 19 のコンピーナ募集とその作業プログラムの処置に関する質問状発行 (02-17)。締切りは 1992-07-30。

3) Resolution 8/91 に関し、DIS 最終版をもとに国際規格を発行する時間短縮のために、フロッピーディスクを DIS 最終版に添付して ISO 中央事務局へ送るよう各 SC へ要請 (02-03)。

4) Resolution 12/91 に関し、中国に対し SC 17 Secretary 及び議長の名指依頼 (02-07)。

5) Resolution 15/91 と、TC 155/SC 2 と、TC 17/SC 11 間の liaison の確立の通知の文書を作成、TC 17 の P メンバー等関係者に送付した (02-06)。

(4) ISO 事務局活動報告会

日時: 2 月 28 日(金)

場所: 経団連会館 10 階 パール・ルーム

日本鉄鋼協会は日本工業標準調査会 (JISC) の委嘱を受けて、ISO/TC 17 (鉄鋼)、ISO/TC 17/SC 1 (鉄と鋼の化学分析方法) 及び ISO/TC 67/SC 5 (油井管) の幹事国業務を遂行している。活動費については、維持会員 41 社に“ISO 分担金”として拠出をお願いしている。ISO 事務局の過去 1 年間の業務報告及び来年度の業務計画報告を行った。

4. TC 17/SC 1 (化学成分分析) 関係

(1) Publication stage (Stage 5):

1) ISO 10697-1 (sol Ca-原子吸光法) が発行された (02-15)。

2) DIS 10714 (P-吸光光度法); Proof 作成中

(2) Approval stage (Stage 4):

1) DIS 10702 (N-蒸留滴定法); 中央事務局にて DIS 登録完了 (02-04)。

(3) Committee stage (Stage 3):

1) CD 10698 (Sb-無炭原子吸光法); SC 1 内投票締切 (02-29)。

2) CD 4830-4 (C-燃焼電量法); 6 月のロンドン会議まで取扱い保留。

(4) Preparatory stage (Stage 2):

1) WG 12 (Mn-プラズマ) (CD 10278); コンピーナが共同実験結果報告書作成中。

2) WG 17 (Ca-原子吸光法) (CD 10697-2); 報告書及び CD を SC 1 内に回付 (02-14)。

3) WG 20 (GC-燃焼赤外線吸収法) (CD 10719); 報告書及び CD を SC 1 内に回付 (02-14)。

4) WG 21 (Al-原子吸光法) (CD 10699); 報告書及び CD 作成完 (02-19)。

5) WG 22 (Mn-原子吸光法) (CD 10700); 報告書及び CD を SC 1 内に回付中。

6) WG 25 (S-吸光光度法) (CD 10701); 報告書及び CD を SC 1 内に回付 (02-14)。

7) WG 27 (N-融解熱伝導率法) (CD 10720); 報告書及び CD を SC 1 内に回付 (02-14)。

8) WG 28 (Si-重量法) (WD 439); コンピーナが共同実験結果報告書作成中。

9) WG 29 (Co-原子吸光法) (CD 11652); 報告書及び CD を SC 1 内に回付 (02-14)。

10) WG 30 (Co-電位差滴定法) (CD 11653); 報告書及び CD を SC 1 内に回付 (02-14)。

11) WG 31 (Mo-吸光光度法) (WD 4941); コンピーナが共同実験結果報告書作成中。

12) Ad hoc group (Low C); 予備共同実験結果報告書作成完 (02-26)。

SC 1 内回付中の報告書及び CD は、6 月の第 14 回 ISO/TC 17/SC 1 会議 (London) にて討議。

(5) 関連事項

国際鉄鋼分析委員会 (ICASI-International Committee of Analysts in Iron and Steel Industry) の設立について

1) 各国、地域及び ISO の鉄鋼分析委員会の長が一同に会し、

- ・分析者の能力、分析方法、技術、信頼性の向上
- ・分析室管理、ISO 活動、標準物質の国際システム
- ・ISO、IUPAC の活動支援

等に関し情報、意見の交換を行い、方針を決定し関連機関への助言、アドバイスをを行うことを目的とし、上記委員会を設置する。

2) 第 1 回会議は第 14 回 ISO/TC 17/SC 1 会議 (London) の直前 1992-06-12 に英国にて開催する。

3) 最初の事務局を日本 (ISIJ/ISO 事務局 SC 1 secretary および SC 1 常任議長) がもち、委員会の発足と軌道に乗るよう援助する。

以上が、鉄鋼 ISO 運営委員会 (1992-02-19) にて承認された。

5. TC 67/SC 5 (油井管) 関係

(1) 第 2 回 TC 67/SC 5 国際会議の日程

ISO/TC 67 Secretary Mr TRETLEL *Jr* と相談

TC 67 総会 (1992-09-30~10-03) とは関連づけずに、下記のとおりと決定。

TC 67/SC 5/WG 1 会議……10 月 19, 20 日 (日本)

TC 67/SC 5 会議……10 月 21~23 日 (日本)

6. 国内会議

- 2月19日：鉄鋼 ISO 運営委員会
 2月27日：TC17/SC1 分科会・諮問部会
 2月28日：ISO 活動報告会

7. 国際会議 (向こう 3 か月間の予定)

- TC17/SC20 4月27日～30日 パリ
 TC17/SC9 5月27日～30日 ロンドン

会議ダイジェスト

編集委員会

・第 1 回和文会誌分科会

開催日：3月3日

出席者：本原主査ほか，9名。

- 10件の論文審査報告がなされ，掲載決定6件，照会后掲載可2件，返却2件であった。
- 「鉄と鋼」第78年第6号(6月号)に論文11件の掲載決定をし，第5号(5月号)に現場技術報告5件の掲載決定をした。
- 解説等11件の執筆依頼を決定した。
- 年末に掲載する題目別索引の分類は，講演大会で使用している大分類を参考にすることとした。
- 論文をよりよく読んでもらうため簡単な紹介文を掲載したいとの意見が出され，記載場所等，検討を行った。

・第 11 回欧文会誌分科会

開催日：2月28日

出席者：菊池主査ほか，5名。

- 13件の原稿につき審査報告がなされ，照会后掲載可2件，修正依頼6件，返却5件であった。
- 金属学会英文誌との合併について，その必要がないことを確認した。
- International Advisory Board の委員構成，役割を検討した。
- 「鉄と鋼」からの原稿転載を今後見直していくこととした。

・第 1 回欧文会誌分科会

開催日：3月19日

出席者：菊池主査ほか，9名。

- 16件の原稿につき審査報告があり，掲載可2件，照会后掲載可3件，修正依頼7件，返却4件であった。
- ISIJ International, Vol. 32 (1992) No. 6 に Regular article 11 件の掲載を決定した。
- Advisory Board Member の構成及び業務について検討した。

- 「鉄と鋼」からの転載原稿の意義と今後の取扱いについて検討した。
- 審査料の廃止を検討した。

研究委員会

・第 6 回研究委員会

開催日：3月13日

出席者：山口委員長ほか，16名。

- 研究環境実態調査小委員会の委員構成について
- 鉄鋼基礎共同研究会のあり方について
- 将来研究課題小委員会中間報告
- 鉄鋼研究振興資金による平成5年度実施の助成テーマの募集要領報告
- 第3回科研費研究分科会報告

・第 3 回科研費研究分科会

開催日：3月4日

出席者：山口主査ほか，7名。

- 平成4年3月4日午後開催される科学研究費補助金分化・細目の改訂に伴う懇談会に先立ち，対応を協議した。
- 平成4年度の研究環境実態調査で科研費補助金に応募したテーマについても調査することとした。

共同研究会

・第 106 会製鋼部会

開催日：3月18～19日

開催地：新日鉄/広畑，山特/本社[共催]

出席者：王寺部会長ほか，122名。

- 特別講演
演題：「当社における製鋼技術の現状」
講師：山陽特殊製鋼(株) 本社
取締役 製鋼部長 福本 一郎氏
- 研究発表
(1)重点テーマ：7件
「精錬工程における機械化・自動化技術の現状と将来」
(2)自由テーマ：13件
- 工場見学
新日本製鉄(株) 広畑製鉄所 製鋼所

ならびに山陽特殊製鋼(株) 本社 第2製鋼工場

・第 92 回特殊鋼部会

開催日：3月5，6日

開催地：神戸/神戸

出席者：矢島部会長ほか，119名。

- 特別講演
「神戸製鉄所における製鋼技術の現状」
- 研究発表
1) 共通テーマ：6件
「タンディッシュにおける熱付与技術について」
2) 共通テーマに関するパネルディスカッションおよびまとめ
3) 自由テーマ：12件
- 工場見学
(株)神戸製鋼所 神戸製鉄所

・熱経済技術部会・第 6 会新燃焼技術研究小委員会

開催日：2月27，28日

開催地：新日鉄/富津

出席者：鈴木委員長ほか，15名。

- (1)報告書イメージについて討議
- (2)技術課題—1：放射管加熱
—2：低カロリー燃焼
—3：触媒燃焼
- (3)特別講演「実用バーナにおける設計パラメータの探索」(株)ファーンステクノ 廣瀬靖夫氏
- (4)工場見学(君津製鉄所，総合技術センター)

・第 17 回調査部会

開催日：2月27日

出席者：中島部会長ほか，19名。

- 平成3年度調査部会活動報告
- 平成4年度部会予算について
- 部会報告書について
テーマ：魅力ある鉄鋼業を目指して
- 今後の進め方
- その他

・運輸部会第 2 回平成 4 年度調査小委員会

開催日：2月21日

出席者：檀野委員長ほか，23名。

- (1)活動内容，今後の進め方の詳細検討